

# 大学院進学説明会 配付資料

入試情報	p. 1
社会人入学	p. 3
カリキュラム情報	p. 4
特徴ある教育プログラム	p. 8
奨学金情報	p. 9
研究支援	p. 10
キャリア・経済・就職支援	p. 14
進路情報	p. 17
学位論文題目	p. 20

# 入試情報

## 1. 志願者数および入学者数

### 修士課程

年度	募集人員	志願者数			小計	入学者数		小計
		北大	他大学	その他		北大	他大学	
2022 (R4)	90	47	191	0	238	31	77	108
2023 (R5)	90	42	209	1	252	24	76	100
2024 (R6)	90	37	168	0	205	29	69	98
2025 (R7)	90	45	172	0	217	34	61	95
2026 (R8)	90	58	165	0	223	48	58	106

### 博士後期課程

年度	募集人員	志願者数			小計	入学者数		小計
		北大	他大学	その他		北大	他大学	
2022 (R4)	35	32	9	41	29	5	34	
2023 (R5)	35	29	24	53	25	12	37	
2024 (R6)	35	39	25	64	32	10	42	
2025 (R7)	35	34	22	56	20	11	31	
2026 (R8)	35	43	24	67	35	10	45	

合格者数については、文学院のウェブサイトをご参照ください。

[文学院トップページ](#) » [入試情報](#) » [大学院文学院入試情報](#) » [入試・説明会日程、出願状況等](#)  
[出願状況](#)

## 2. 大学院入試情報

### (1) 入学料・授業料 および 入学料減免(徴収猶予)・授業料減免制度

入学料 282,000 円

授業料 年間 535,800 円(半期 267,900 円)

※ 上記は予定額であり、今後改定される場合があります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

納入が困難な学生に対して、減免および徴収猶予の制度があります。詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください。

[北海道大学トップページ](#) » [学生生活](#) » [学生生活](#) » [入学料及び授業料\(免除\)・奨学金・学生寮・学研災及び年金・学生証・各種証明書](#) » [入学料及び授業料\(免除\)](#)

### (2) 学生数

[北海道大学トップページ](#) » [大学案内](#) » [大学の紹介](#) » [北海道大学の概要](#) » [学生数](#)

## ■入試情報

### (3) 卒業・修了者数(学位授与数)

北海道大学トップページ › 大学案内 › 大学の紹介 › 北海道大学の概要  
› 卒業・修了者数(学位授与数)

### (4) 大学院入試情報

文学院トップページ › 入試情報 › 大学院文学院入試情報

### (5) 過去の入試問題 (過去5年分を公開)

専門試験、口述試験その他のうち、文学院ウェブサイトでは著作権法上問題がないものを公開しています。出題されたすべての問題は、文学事務部教務担当窓口で閲覧できます。

文学院トップページ › 入試情報 › 大学院文学院入試情報 › 入試過去問題

### (6) 大学院進学ポータル

大学院進学希望者向けに、入試情報から入学後の経済支援、各種セミナー案内や進路情報など、大学院での研究生生活に必要な情報を網羅的に掲載しています。

文学院トップページ › 文学院 › 大学院進学ポータル(文学院進学希望者向け情報)

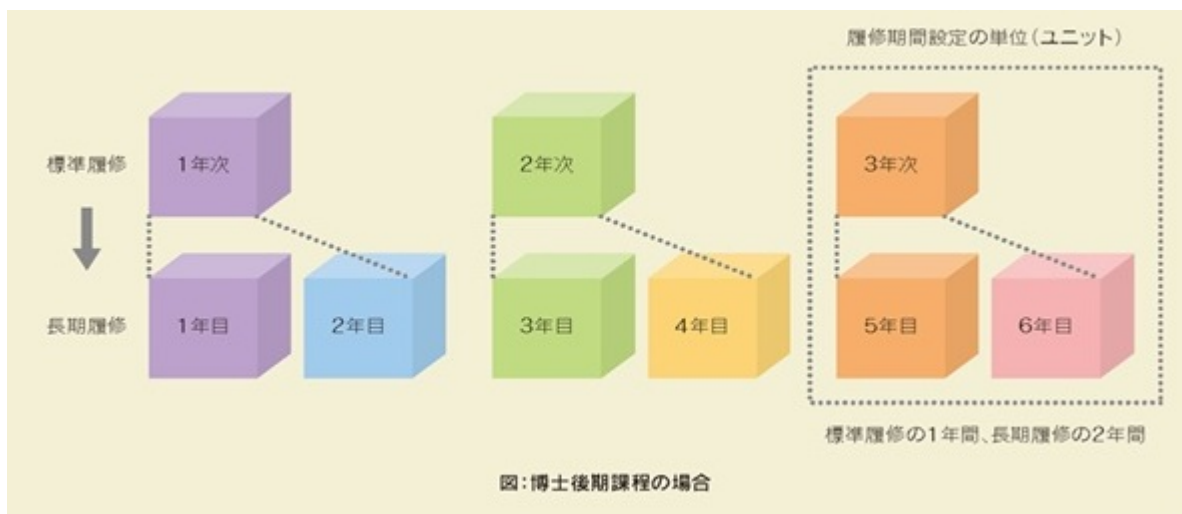


## 社会人入学

社会人の大学院への受け入れを円滑におこない、定められた修学年限内での学位取得を可能にするために、文学院では次のような措置がとられています。第一に、「大学院設置基準第14条による特例」にもとづき、在職の社会人は指導教員との相談のうえで講義の時間を柔軟に設定することが可能です。第二に、長期履修制度があります。時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので、例えば修士課程では2年間の履修を標準としていますが、それを最長4年間に延ばして修学することもできます。

### ●長期履修制度の解説

文学院では、長期履修制度を実施している。修士課程では2年の標準的修学期間を最長4年間に、博士後期課程では同じく3年を6年間に延長することができる。この制度は、主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したものであり、標準の修業年限より長い期間をかけて計画的に履修を行うためのものである。また、種々の負担によって修学に重大な影響が考えられる一般の学生にも適用されることになっている。入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(修士課程は年額×2年、博士後期課程は年額×3年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。



### 長期履修制度

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [長期履修制度](#)

## カリキュラム情報

北海道大学では、学部と大学院で開講されるすべての授業のシラバスを、下記のウェブサイトで検索することができます。

北海道大学トップページ > 学生生活 > 教務情報 > シラバス検索

### 各専攻の授業科目および単位数

文学院で開講される授業科目、および、修了に必要な単位数は下の表のとおりです。

#### 1. 修士課程

##### 人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	7単位修得すること。
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	哲学特殊講義	2	i 特殊講義を2単位以上修得すること。 ii 特別演習及び特別実習から10単位以上修得すること。 iii 合計23単位以上を修得すること。
	倫理学特殊講義	2	
	論理学特別演習	2	
	古代中世哲学特別演習	2	
	近現代哲学特別演習	2	
	倫理学特別演習	2	
	インド哲学仏教学特殊講義	2	
	宗教学特殊講義	2	
	インド哲学仏教学特別演習	2	
	宗教学特別演習	2	
	日本史学特殊講義	2	
	日本古代史特別演習	2	
	日本中世近世史特別演習	2	
	日本近現代史特別演習	2	
	東洋史学特殊講義	2	
	東洋史学特別演習	2	
	西洋史学特殊講義	2	
	西洋史学特別演習	2	
	考古学特殊講義	2	
	考古学特別演習	2	
	北方考古学特別演習	2	
	考古科学特別演習	2	
	環境考古学特別演習	2	
	考古学特別実習	2	
文化人類学特殊講義	2		
文化人類学特別演習	2		
芸術学特殊講義	2		

芸術学特別演習	2
博物館・文化財研究特殊講義	2
博物館・文化財研究特別演習	2
英米文学特殊講義	2
西洋文学特殊講義	2
英米文学特別演習Ⅰ	2
英米文学特別演習Ⅱ	2
英米文学特別演習Ⅲ	2
西洋文学特別演習	2
言語文化論特別演習	2
日本古典文化論特殊講義	2
日本古典文化論特別演習	2
文献学（国語・国文）特別演習	2
中国文化論特殊講義	2
中国思想特殊講義	2
中国語学特殊講義	2
中国文学特殊講義	2
中国思想特別演習	2
中国語学特別演習	2
中国文学特別演習	2
映像表象文化論特殊講義	2
現代表象文化論特殊講義	2
日本現代文化論特殊講義	2
映像表象文化論特別演習	2
現代表象文化論特別演習	2
日本現代文化論特別演習	2
言語学特殊講義	2
英語学特殊講義	2
西洋言語学特殊講義	2
日本語学特殊講義	2
言語学特別演習	2
英語学特別演習	2
西洋言語学特別演習	2
日本語学特別演習	2
言語分析論特別演習	2
スラブ・ユーラシア研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア文化研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア社会研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア相関研究特別演習	2
アイヌ・先住民学特殊講義	2
アイヌ・先住民学総合特殊講義	2
アイヌ・先住民学特別演習	2
アイヌ・先住民学海外特別演習	2

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

■カリキュラム情報

人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	7単位修得すること。
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	心理学特殊講義	2	i 特殊講義を2単位以上修得すること。 ii 特別演習を10単位以上修得すること。 iii 合計23単位以上を修得すること。
	認知理論特別演習	2	
	行動理論特別演習	2	
	知覚情報論特別演習	2	
	表象構造論特別演習	2	
	知識構造論特別演習	2	
	思考過程論特別演習	2	
	学習過程論特別演習	2	
	行動科学特殊講義	2	
	行動科学特別演習	2	
	行動実験調査法特別演習	2	
	計量行動学特別演習	2	
	数理行動学特別演習	2	
	社会心理学特別演習	2	
	集団力学特別演習	2	
	社会学特殊講義	2	
	社会調査法特別演習	2	
	社会学理論特別演習	2	
	社会集団論特別演習	2	
	社会構造論特別演習	2	
	社会変動論特別演習	2	
	地域科学特殊講義	2	
	地域分析法特別演習	2	
	地域社会学特別演習	2	
	開発社会学特別演習	2	
	地域環境学特別演習	2	
	社会生態学特別演習	2	
	人文地理学特別演習	2	
	経済地理学特別演習	2	
	地誌学特別演習	2	
	地理学特別演習	2	
	地域調査特別演習	2	
地域科学特別演習	2		

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

## 2. 博士後期課程

### 人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	

### 人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	

## 特徴ある教育プログラム

---

文学院の学生が受講できる、分野横断・学際的なプログラムを紹介します。

### 人間知・脳・AI 教育プログラム

人間知・脳・AI 教育プログラムは、人文社会科学・脳科学・AI 研究が交差する地点で、「人間」について多角的に学ぶ文理融合型の教育プログラムです。人間知・脳・AI 研究教育センターが提供しています。

北大の全大学院から年間 20 名程度を選考し、所属大学院を超えて学際的共同研究に参画していただきます。自分が専門としていない分野の知識・技能を学びながら、自分自身の専門的知見・技能をも深めていきます。人文社会科学・脳科学・AI に関する最先端の学際的研究に触れるオムニバス講義やサマースクール、英語で行うウィンタースクール、学んだ知識・技能を実地に生かすインターンシップなどで構成されています。

修了要件を満たすと修了証書が授与されます。

<https://www.chain.hokudai.ac.jp/education/>



# 奨学金情報

本学で取り扱っている奨学金には、日本学生支援機構、民間奨学団体及び地方自治体による奨学金があります。奨学金には、返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」があります。詳細は下記のウェブサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 学生生活 » 入学料及び授業料(免除)・奨学金・学生寮・学研災及び年金・学生証・各種証明書 » 奨学金

## 1. 日本学生支援機構 奨学金

### 奨学生 申請者および採用者数

#### 修士課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2021 (R3)	13	13	11	1	1
2022 (R4)	24	24	22	1	1
2023 (R5)	12	12	11	1	0
2024 (R6)	27	27	24	0	3
2025 (R7)	27	27	22	0	5

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

#### 博士後期課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2021 (R3)	2	2	2	0	0
2022 (R4)	0	0	0	0	0
2023 (R5)	2	2	1	0	1
2024 (R6)	5	5	5	0	0
2025 (R7)	1	1	1	0	0

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

## 2. 民間奨学団体及び地方自治体等 奨学金

毎年数名が採用されています。詳しくは、下記のウェブサイトをご確認ください。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 学生生活 » 入学料及び授業料(免除)・奨学金・学生寮・学研災及び年金・学生証・各種証明書 » 奨学金

## 研究支援

### 1. 院生旅費支援（共生の人文学プロジェクト）

大学院生の国際学会・全国学会での研究発表に対する旅費を支援するものです(主として航空運賃の支援、宿泊費は含まない)。「調査出張」に対しても支援をおこなっています。

#### 応募件数および採択件数

年度	予算枠	応募件数	採択件数*		
			国際学会	全国学会	調査等
2021(R3)	318万円	2	0	0	2
2022(R4)	150万円	17	3	12	2
2023(R5)	250万円	35	7	8	6
2024(R6)	250万円*	29	6	8	9
2025(R7)	250万円	42	4	18	9

(採択後辞退した件数は含まない)

\*オンライン開催学会参加費支援含む

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [共生の人文学プロジェクト](#) » [旅費支援](#)

### 2. 院生校閲費支援（共生の人文学プロジェクト）

国際学会・国際研究集会での発表、および、国際学術雑誌・本研究科の英文ジャーナル等への投稿を積極的に支援するために、文学院所属の大学院生に対して発表原稿や投稿原稿の校閲料を支給するものです。応募回数に制限はありません。

#### 採択件数

年度	採択件数
2021(R3)	22
2022(R4)	11
2023(R5)	7
2024(R6)	7
2025(R7)	3

(採択後辞退した件数は含まない)

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [共生の人文学プロジェクト](#) » [校閲費支援](#)

### 3. 文学院・文学研究院発行の雑誌(「研究論集」・「英文ジャーナル」)への投稿を支援

研究発表の機会を積み重ねることは、研究を進める上で大変重要です。文学院が発行する雑誌『北海道大学大学院文学院 研究論集』および *Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences*(英文ジャーナル)では、大学院生の論文発表の場を設けています。

各雑誌における採択状況

年度	研究論集 (12月発行)	英文ジャーナル (3月発行)	
	件数	応募件数	採択件数
2021(R3)	19	3	3
2022(R4)	20	3	3
2023(R5)	22	4	4
2024(R6)	17	1	1
2025(R7)	19	3	3

注) 研究論集は、2010年度からHUSCAP(北海道大学学術成果コレクション)にて公開、英文ジャーナルについては全巻を公開

[文学院トップページ](#) > [研究紹介](#) > [実績](#) > [刊行雑誌](#)

[北海道大学学術成果コレクション](#)

[北海道大学トップページ](#) > [附属図書館](#) > [資料を探す](#) > [HUSCAP](#)

### 4. 院生図書費支援

大学院生は毎年、一定金額の範囲内で図書を購入することができます。院生図書として登録された図書は、学位論文執筆期間中は優先的に利用することができます。

### 5. 院生研究室

講座または研究室ごとに院生研究室が設置されています。2022年度からは、博士後期課程学生専用の院生研究室も設置されました。ひとりが一台の机で勉強できるよう、十分な設備を整えています。文学院内で腰を落ち着けて読書、思考、執筆ができます。

## 6. 国際交流および留学支援

北大では、53カ国の国や地域において、207大学等と「大学間交流協定」を結び(2026.1現在)、グローバル教育や研究を推進しています。その他に、文学院・文学部では独自に、24大学と「部局間交流協定」を締結し、そのうち12大学と「学生交流覚書」を取り交わし、独自の交換留学制度を設けています。大学院生や学部生の語学力の向上や、国際的な研究への支援を積極的に行っています。

### 部局間交流協定校 24大学・機関(2026.4現在)

そのうち学生交流覚書を取り交わしている12大学：

サセックス大学(英国)、ロンドン大学 SOAS(英国)、マンチェスター大学(英国)、ザグレブ大学(クロアチア)、デュースブルク・エッセン大学(ドイツ)、パリ・シテ大学(フランス)、国立雲林科技大学(台湾)、国立高雄大学(台湾)、南京農業大学(中国)、南京理工大学(中国)、香港大学(中国香港特別行政区)、慶北大学校(韓国)

### 大学間交流協定校のうち学生交流協定を締結しているのは、189大学・機関(2026.1現在)

文学院学生の主な交換留学先：

部局間交流協定校では英国のサセックス大学、フランスのパリ・シテ大学、ドイツのデュースブルク・エッセン大学、クロアチアのザグレブ大学、大学間交流協定校では、吉林大学、ベラデニア大学、サンクトペテルブルク国立大学、モスクワ国立大学、サハリン国立大学、イルクーツク国立大学、極東連邦大学、マサチューセッツ大学、アルバータ大学など多くの大学への交換留学実績あり

### 留学生の受入と派遣状況

年度	受入（各年度5月1日現在の在籍者数）				各年度の派遣者数
	学部生	大学院生	研究生*	交換留学生*	交換留学生*
2021(R3)	4	163	45	14	3
2022(R4)	4	154	30	3	5
2023(R5)	5	163	25	23	10
2024(R6)	3	162	11	30	16
2025(R7)	5	135	19	51	6

\* 文学研究院・文学院/文学研究4科・文学部の合計

文学院トップページ >> 留学・国際交流 >> 国際交流・協定校紹介

[文学院・文学部「留学ガイドブック2026」](#)



## 7. 受入留学生向けの支援

北海道大学では、留学生に対する支援として、渡日直後の支援を行う「サポーター制度」があります。その他、文学院では、独自の支援制度として、学習・日本語を支援する「チューター制度」を設けております。詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

文学院トップページ > 留学・国際交流 > 留学生支援

### チューター制度

チューター制度は、留学生の指導教員が選んだ学生およびチューターバンクに登録した学生が、チューターとして留学生に対して教育や研究について個別の指導や支援を行い、留学生の学習や研究効果の向上を図ることを目的としています。文学院・文学部では、2025年度に支援をうけた留学生数は延べ88名、支援したチューターは延べ53名にのびりました。

## キャリア・経済・就職支援

### 1. ティーチング・アシスタント(TA)制度/ティーチング・フェロー(TF)制度

学部および全学科目の教育補助として、優秀な大学院生(修士課程・博士後期課程)を TA として採用しています。この TA 制度は、大学院生に将来教員や研究者等になるためのトレーニングの機会を提供するとともに、手当を支給しています。また、2015 年度より、博士後期課程の大学院生を対象に TF 制度が導入されており、教員と分担しながら授業を担うことで、さらにティーチングの技能を高め経験を蓄積することを可能にしています。

- ・ TA 研修会 4 月開催 (全学教育科目の TA が対象)

#### TA

年度	予算	採用件数*
2021(R3)	756 万円	245(4)
2022(R4)	720 万円	256(9)
2023(R5)	734 万円	254(6)
2024(R6)	721 万円	236(9)
2025(R7)	699 万円	244(9)

\* 延べ人数、括弧内は他学部院生数

#### TF

年度	予算	採用件数*
2021(R3)	110 万円	8
2022(R4)	100 万円	8
2023(R5)	89 万円	8
2024(R6)	88 万円	6
2025(R7)	95 万円	6

\* 延べ人数

### 2. リサーチ・アシスタント(RA)制度

研究プロジェクト等を円滑に進める研究補助として、優秀な博士後期課程の院生を RA として採用しています。この RA 制度は、研究活動の効果的な進展や研究支援体制の充実を図るとともに、若手研究者の研究遂行能力を育成することを目的としています。また、若手研究者に手当を支給することにより、研究に専念できる環境を提供します。

年度	予算	採用件数
2021(R3)	260 万円	7
2022(R4)	241 万円	7
2023(R5)	259 万円	12
2024(R6)	220 万円	7
2025(R7)	235 万円	6

### 3. 博士後期課程院生向け支援

博士後期課程学生への研究および経済支援が拡充されています。文学院の大学院生がチャレンジできる制度は以下のとおりです。

#### ・日本学術振興会特別研究員

独立行政法人日本学術振興会による制度。学術研究の将来を担う創造性に富んだ若手研究者の養成・確保を目的に、日本学術振興会が博士後期課程学生と博士学位取得後5年未満の研究者を支援するものです。

大学院生(DC1・DC2)研究費:年額150万円以内、生活費相当額:年額272.4万円

博士学位取得者(PD)研究費:年額150万円以内、生活費相当額:年額434.4万円

#### ・博士人材フェローシップ

北海道大学では博士後期課程の大学院生の経済的負担を軽減するため、生活費および研究費を支援するフェローシップ制度を採用しています。令和6年4月からは、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラムによる「ExcellenceとExtensionの融合による未来社会の開拓者育成プログラム」(EXEX博士人材フェローシップ)というフェローシップ制度が開始となりました。詳細については、下記のウェブサイトをご参照ください。



EXEX 博士人材フェローシップ

### 4. 研究者へのキャリア支援

大学院生にとっても、独自の研究経費を確保することは大変に重要です。文学院では、日本学術振興会特別研究員への申請を支援するため、申請書の書き方セミナーを毎年開催しています。このセミナーでは申請書の書き方へのアドバイスにとどまらず、研究の進め方、研究者としての心がまえ、キャリアパスなど幅広い話題を提供します。また、2023年2月から研究推進室にて日本学術振興会特別研究員(DC)の申請書作成支援を開始しました。この他に若手研究者支援セミナーとして、学術出版に関するセミナー、キャリアパスに関するセミナー、国際的な研究活動への挑戦に関するセミナー、社会連携セミナーを開催し、さまざまな面から若手研究者の研究活動を支援しています。

- ・大学院生支援セミナー5月開催
- ・学振特別研究員DC・PD申請書の書き方セミナー 冬頃開催、書き方相談会 3月開催
- ・若手研究者支援セミナー 秋頃に開催

## 5. 北海道大学キャリアデザインセンター主催の企画やセミナー等

キャリアデザインセンターは、学生とのコミュニケーションを大切にしながら就職活動をバックアップします。就職相談や就活指導、就職情報の配信ほか、公務員受験や教員採用試験も応援しています。

北海道大学トップページ > キャリアデザイン Navi > キャリアデザインセンターのサイトへ

※詳しい日程は Web 参照。



## 6. 北海道大学キャリアデザインセンター 博士人材育成ユニット主催の企画やセミナー等

博士人材育成ユニットは、博士後期課程学生とポストドクター向けのキャリア形成支援組織です。専門知識を活かしたキャリアパスを創出するための人材育成プログラムを実施しています。キャリア相談にも応じます。

・人文・社会科学系大学院生のステップキャリア形成イベント Advanced COLA 8月開催

北海道大学トップページ > キャリアデザイン Navi > 博士人材育成ユニットのサイトへ



## 7. 文学院独自のキャリアガイダンス

・年1回実施（11月）

## 8. 学芸員資格取得ガイダンス

・年1回実施（4月）

※ 博物館実習履修者向けのガイダンスも別途実施。

## 9. 大学院進学説明会

・2026年6月19日および11月13日 オンライン開催  
研究室ごとの個別相談あり

# 進路情報

## 1. 修士課程修了者の進路

修了者は、約30%が博士後期課程へ進学し、そのほとんどが文學院の博士後期課程で研究を続けています(過去3年間のデータより)。就職については、幅広い職種の民間企業に約40%、その他教員、公務員等の職業に就いています。

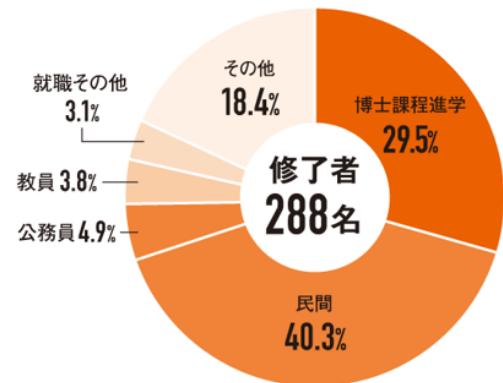
修士課程修了者の進路動向(過去3年間)

### 進路動向

〈修士課程〉過去3年間の進路

	修了者数	博士課程進学	就職	その他
令和5年度	98人	32人	51人	15人
令和6年度	96人	17人	57人	22人
令和7年度	94人	36人	42人	16人
過去3年間平均	—	29.5%	52.1%	18.4%

※その他の内訳: 帰国、大学院等受験準備、研究生など。



修士課程 過去3年間の進路

修士課程修了者の就職先(過去3年間)

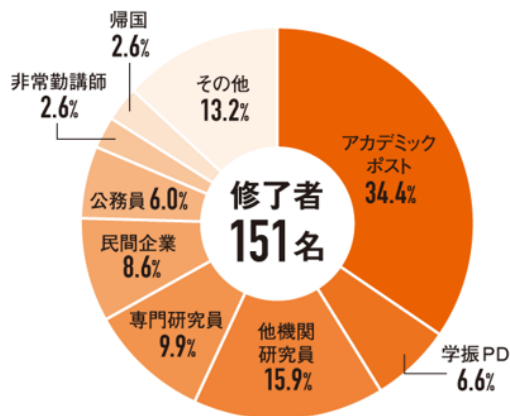
<p><b>官公庁</b></p> <p>愛媛県久万高原町地域おこし協力隊 外務省 総務省 北海道庁 松本市役所 夕張市役所 労働政策研究・研修機構</p>	<p><b>情報通信業</b></p> <p>アイヴィス 朝日サービス アストロン アドソル日進 インターネットイニシアティブ エヌシーアイ総合システム 京都新聞社 共同通信社 クリプトン・フューチャー・メディア KDDI K-BIT JCOM 情報技術開発 小学館集英社プロダクション cinra Speee ダイテック 中日新聞社 TIS TNLメディアゾーン デジタルデータソリューション 東映ビデオ 日鉄ソリューションズ北海道 日本放送協会(NHK) 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス 日本電気航空宇宙システム 東日本電信電話 フジテレビジョン ブックスボックス フレクト ベネッセコーポレーション 北海道新聞社 毎日新聞社 ミックウェア モンスターラボ</p>	<p><b>学術研究、専門・技術サービス業</b></p> <p>アクセンチュア 小樽市総合博物館 日本国際協力センター(JICE) 札幌市芸術文化財団 さっぽろ青少年女性活動協会 自営業(デザイナー) 電通 日本総合研究所 PIGNUS 日高町立門別図書館郷土資料館 平取町立二風谷アイヌ文化博物館 北海道大学総合博物館 北海道大学大学院医学研究院 北海道博物館 北海道立文学館 北海道立北方民族博物館 マクロミル</p>	<p>THK TDK TOPPAN 日本写真印刷コミュニケーションズ 日立産機システム 華勤技術(中国) 三井ハイテック ルピシア レゾナック</p>
<p><b>教育・学習支援業</b></p> <p>神奈川県教育委員会(高等学校教諭) 金光大阪中学校・高等学校 札幌日本大学高等学校 富山県教育委員会 北海道高等学校 高等学校教諭 日本語教員(中国)</p>	<p><b>建設業</b></p> <p>共同エンジニアリング 世紀東急工業</p>	<p><b>金融・保険</b></p> <p>農林中央金庫 PayPay銀行</p>	<p><b>サービス業</b></p> <p>アビームコンサルティング WILLER ACROSS エイチ・アイ・エス HTM エル・ティ・エス グローバルラストネットワークス 京東 京東商城(中国) JTB 鈴木商会 中国楽天 東京動物園協会 日本キャリア 乃村工務社 パーソルビジネスプロセスデザイン はなまる ペイロール ホクレン農業協同組合連合会 北海道農業公社 宗教法人本光寺 楽天グループ りんゆう観光</p>
<p><b>運輸業・郵便業</b></p> <p>日本郵便 北海道エアポート</p>	<p><b>卸売業・小売業</b></p> <p>自営業(茶葉の販売等) シロ トゥモロランド 東急百貨店 良品計画</p>	<p><b>不動産</b></p> <p>ウインドワード JWB 都市再生機構</p>	
<p><b>農業・林業</b></p> <p>雪印種苗</p>		<p><b>医療</b></p> <p>中村記念病院</p>	
		<p><b>製造業</b></p> <p>アドバンテスト 岩塚製菓 SUBARU セイコーエプソン</p>	

## 2. 博士後期課程修了者の進路

博士後期課程修了者は、主に全国の大学、高校などの教員として就職しています。日本学術振興会の特別研究員 PD 制度や文学研究院の専門研究員制度を利用し、さらに研究成果を積み上げてから研究職に就く方もいます。最近ではアカデミアのみならず民間企業での研究職や管理職で活躍する方も増えてきています。

博士後期課程修了者の進路動向(過去5年間)

アカデミックポスト	52
学振 PD	10
民間企業	13
公務員	9
他機関研究員	24
専門研究員	15
非常勤講師	4
帰国	4
その他	20
合計(人)	151



博士後期課程 過去5年間の進路

※ 単位修得退学者の進路も含む

※ 学振特別研究員 PD や、専門研究員等を経て就職したケースも含む(修了後5年以内)。

博士後期課程修了者の進路(過去5年間)

アカデミックポスト	民間企業
愛知淑徳大学 学修教育支援センター 講師	IGG JAPAN
大阪公立大学 文学研究院 講師	国分グループ
大阪大学 医学系研究科 特任助教	シン学術コンサル
大阪大学 人文学研究科 講師	神宮前麻酔クリニック
静岡県立大学 国際関係学部 准教授	スイッチメディア
就実大学 人文学部 講師	TETSUGAKU
尚絅学院大学 総合人間科学系 講師	日東製網
昭和医科大学 富士吉田教育部 専任講師	日本電信電話 社会情報研究所
筑波大学 人間系 助教	パーソルプロセス&テクノロジー
天使大学 看護栄養学部 講師	PwCコンサルティング
名古屋商科大学 経営学部 専任講師	VISHU
名古屋大学 情報学研究科 特任助教	留萌興産
新潟県立大学 教授	<b>公務員</b>
新潟大学 人文学部 准教授	札幌丘珠高校
沼津工業高等専門学校 助教	札幌育成園
梅花女子大学 文化表現学部 准教授	鹿追町立神田日勝記念美術館
広島大学 人間社会科学部 上廣応用倫理学講座 助教	城陽市歴史民俗資料館
福山大学 人間文化学部 講師	当別町
北海商科大学 商学部 教授	徳島県立博物館
北海道教育大学釧路校 講師	内閣府
北海道大学 アンビシャス特別助教	広島県庁
北海道大学 外国語教育センター 特任准教授	北海道教育庁
北海道大学 教育イノベーション機構 特任助教	<b>博士研究員</b>
北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター 特任助教	玉川大学脳科学研究所
北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター 特任助教	東京大学農学生命科学研究科
北海道大学 文学研究院 准教授	南山大学社会倫理研究所
北海道大学 文学研究院 講師	広島大学 人間社会科学部
北海道大学 文学研究院 助教	北海道大学 アイヌ・先住民研究センター
北海道大学埋蔵文化調査センター 助教	北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター
北海道千歳リハビリテーション大学 共通教育 助教	北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター
北海道武蔵女子大学 経営学部 助教	北海道大学 文学研究院
北海道武蔵女子短期大学 英文学科 特任講師	北海道大学 北方研究教育センター
三重大学 人文学部	北海道大学 メディア・コミュニケーション研究院
<b>〈中国〉</b>	北海道立総合研究機構
厦門大学 電影学院 助理教授	理化学研究所 脳神経科学研究センター
広東外語外貿大学 講師	<b>〈英国〉</b>
貴州大学 哲学学院 講師	サセックス大学
湖北民族大学 外国語学院 講師	<b>〈台湾〉</b>
四川外国語大学 日本語学院	国立中興大学 人文社会科学高等研究センター
四川師範大学	<b>〈中国〉</b>
西安外国語大学 日本文化経済学院 講師	海南大学
浙江師範大学 心理学院 講師	西南大学 漢言語文献研究所
汕頭大学 法学院 講師	香港バプテスト大学
中国地質大学	<b>〈フィリピン〉</b>
北京第二外国語大学 日本語学院 講師	フィリピン国立人類学博物館
遼寧大学 哲学部 講師	<b>文学研究院専門研究員</b>
<b>〈スペイン〉</b>	<b>その他</b>
サラマンカ大学 准教授	イラストレーター
<b>日本学術振興会特別研究員(学振PD)</b>	神主
金沢大学	京都大学 教務補佐員
京都大学	札幌大学 職員
慶應義塾大学	住職
筑波大学	他大学大学院進学
東京大学	玉川大学 職員
東北大学	通訳
	俳人
	北海道大学 職員
	帰国

# 学位論文題目

令和7年度の学位論文題目は、以下のとおりです。過去の学位論文は、文学院ウェブサイトに掲載しています。

文学院トップページ > 文学院 > 過去の修士・博士論文題目

## 1. 修士論文

### 【人文学専攻】

- 陰謀論概念に対する関心ベースの概念工学の試み
- 解的的不正義に対する現状のアプローチの不足と新たな提案－Suicidismを手掛かりに－
- 集団がもつ知識を説明する徳認識論
- **Defending Testimonial Knowledge** (証言的知識を擁護する)
- ブライアーの現在主義に基づいた拡張時制論理に関する証明論研究
- 公開告知論理に基づいた疑問文のダイナミクスの形式化
- エナクティヴアプローチに依拠した意識のハードプロブレム再構築の試み
- 『存在と時間』における「責めある存在」と決意性の解釈－規範と責めの観点から－
- 数と時間との関係および最も基本的な数についての現象学的探究の試み
- 高齢者施設における死と宗教的ケア生活と関係の視点から－
- 唐代中国仏教の「恩」思想－類書『法苑珠林』を中心として－
- 1910～1920年代樺太開発と朝鮮人・中国人
- アジア・太平洋戦争期における北海道炭輸送
- 満洲国の感染症に関する衛生史研究
- 戦間期の漸減激撃作戦
- 大正期における陽明学の政治的限界とその思想的転移
- 近代小樽港の港湾認識と都市政治
- 室町幕府は五山からの贈与に依存していたのか
- 近世前中期における大名間の離婚
- 寛政改革期の蝦夷地政策と御三家の政治参与
- 金毓黻の日本訪問から見る近代日中学術史
- イブン・ハルドゥーン『イバルの書』における jāliya
- 開かれた「労働者階級」を求めて－1970年代イギリスにおけるヒストリー・ワークショップの歴史実践－
- 縄文土器の地域差と時期差－土器胎土中の海綿骨針に注目して－
- ほどかれ、縫い合わせる生－現代中国の産後ケア施設における「宝－媽」の生成－
- トルグートモンゴル人と家畜の関係－新疆ウイグル自治区タルバガタイ地域を事例に－
- アート実践による地域文化との応答制度と子どもに挟まれた持続的リミナル空間の考察－苫小牧市美術博物館 子ども広報部びとこまの事例－
- 語りえない身体の所在
- 現代若者文化における「キツチュ」と「主流」－札幌市の K-POP ダンス教室を事例として－
- 出光美術館蔵「宇治橋柴舟図屏風」についての考察
- アドルノ芸術論における「野蛮 (barbarisch)」と「色 (Farbe)」－その方法論的含意
- 昭和後期の日本文化における警女像
- 近世武家社会におけるワシ羽の価値－北方地域からの供給と幕府・東北諸藩による入手・利用－
- 市民団体が実践する自然科学系博物館教育活動～えぞホネ団 Sapporo の事例～〔特定課題研究〕
- 先住民族の「語り」が博物館展示になるまで－アイヌ民族のライフストーリー関連展示を事例に－
- アイヌ文化を基盤とする観光まちづくりにおける地域博物館の役割－平取町立二風谷アイヌ文化博物館の事例から－
- 日本の博物館における演劇活動に関する研究－博物館教育およびマーケティングの視点を中心に－
- ミハイル・アルツィバーシェフにおける実存的意義の変遷－「身体性」から「伝道主義」、そして「境界」の実存へ－
- Narrative Misfires and the Motion of Dreams in J. C. Oates's *Jack of Spades: A Structural Analysis Using Poe's Motifs and Freudian Dream Theory* (J. C. オーツ『Jack of Spade』における語りの不発と夢の運動－ポエ的モチーフと夢理論を用いた構造分析)
- 『大和物語』六段、八段、二九段の読解研究
- 和泉式部「黒髪のはれも知らず」歌の解釈
- 米沢本『沙石集』巻八における愚者――「をこがまし」を切り口に
- 『周易集解』説卦、序卦、雑卦の研究――虞翻の注を中心に
- 『禮記』月令篇の基礎研究
- 『春秋繁露』楚莊王篇を中心とする尊卑観に関する考察
- 『黄帝宅経』における相宅術法の解明
- 『白虎通義』所引緯書の再論
- 『公孫龍子』二篇における旧注と陳澧注の解釈比較

- 『金瓶梅』における李瓶児の「遺影」に対する考察
- 「庚子事変小説」における外国のイメージの変遷
- 『塩鉄論』軽重思想研究: 国家統治規模について
- 映画における「手紙」の表象に関する研究ーベルイマン、トリュフォー、デプレシャンー
- 田壮壮の映画作品における「余白」について
- マイケル・マン作品論
- 芥川龍之介論ー芥川の小説の方法論とその効果
- 太宰治作品における喜劇的な要素とその効果
- 初期日本探偵小説論ー乱歩史観を視座としてー
- BLゲームにおけるマルチシナリオ・マルチエンディング構造の意義
- 漱石後期三部作における内部読者・解釈闘争・倫理
- 高橋たか子論
- 転向文学の研究 中野重治・高見順
- ポストメモリーの観点からみる青来有一の原爆文学ー「ジェロニモの十字架」「聖水』『爆心』をめぐって
- 日露戦争期の女性誌における女性表象ー『女学世界』を中心に
- 現代ロシア語における義務モダリティを伴う所有表現についてー所有者・被所有物に関するコーパス分析ー
- 平安時代語における表記体と文体の関係性ー計量的手法による構造分析ー
- A Functional and Cognitive Study of Clause-Initial *As for* and *As to* in English (英語の文頭 *as for* と *as to* における機能論的・認知言語学的研究)
- Adjective-Participle Compounds Corresponding to Resultative Constructions in English: Analysis on Implicational Hierarchy of Resultatives (結果構文に対応する英語の形容詞-過去分詞型複合語: 結果述語の含意的階層に基づく分析)
- タイ語における擬音語の意味拡張
- 中国語山東方言話者の日本語複合名詞アクセント発音に現れる特徴
- 中国ハルビン朝鮮語のアクセント
- チャイコフスキの交響曲第4番における民謡旋律の音楽的意味ーロシア音楽史への位置付けの試みー
- 1877-78年ロシア・オスマン戦争とロシア帝国の南西コーカサス統治のはじまり: 占領から併合へ
- トカエフ政権によるカザフスタン人意識の形成ー国民教育を中心に
- 赤軍 GRU によるスペイン内戦への介入とソ連の影響力拡大
- 2000年以降のロシア民間航空機産業政策の実行性と実効性

### 【人間科学専攻】

- 大学生の日常生活における音楽聴取による感動とチルの検討
- 研究参加同意書における重要事項の挿入位置と呈示媒体が見落としに及ぼす効果
- 身体化された偽手への視覚刺激が触覚の空間識別精度に及ぼす影響
- Big Five 性格特性と PCCS に基づく色彩嗜好の関連
- キャラクターの三色配色が印象評価に与える影響
- The Significance of Global Identity in Shaping Individual and Collective Action: Focus on Plastic Purchasing and Consumption Behavior and Policy (グローバル・アイデンティティが個人および集団の行動形成に及ぼす意義: プラスチック製品の消費・購入行動と政策に焦点を当てて)
- 規範遵守のメカニズム: 強化学習モデルを用いた探索的シミュレーションによる検討
- 全員一致による話し合いの集合知ー確信度の重みづけ集約に基づく理論・実証的検討ー
- 罰による協力の成立可能性ーリーダーによる罰のインセンティブ構造の検討ー
- 中国官製ナショナリズム主導下における大衆ナショナリズムのあり方ーSNS におけるロシア・ウクライナ戦争報道の受容を例にー
- 戦争映画の受容と平和意識に関する語りの構造分析ー『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』を例にー
- 乙女ゲームから派生する親密関係ー中国におけるコスプレ委託の流行について
- 中国視覚障がい女性の結婚・出産・育児における生活実態調査ー日中比較の視点を通してー
- 上海市の外国語専攻大卒者の就職格差の影響要因に関する研究
- 家庭における子育ての困難とその対処ーギフテッド児を育てる親の語りからー
- 都市と農山漁村をつなぐ取り組みが人々にもたらす影響ー村おこしボランティアを事例にー
- 上根来集落の歴史と共同ーなぜ無住集落で活動を続けるのかー
- 慢性砒素中毒による被害の不可視化ー中国湖南省石門県鶴山村を事例としてー
- 甲州市松里地区にみる枯露柿ブランドの維持に果たす生産者意識の役割ー経済的動機と非経済的動機の関係に注目してー

## 2. 博士論文

博士論文題目は、文学院ウェブサイトだけでなく、北大附属図書館で提供している「学位論文目録データベース」でも検索することが可能です。平成 25 年 4 月以降授与分については、原則 HUSCAP (北海道大学学術成果コレクション) で博士論文全文が公表されています。

### 【人文学専攻】

- 1798-1847 年におけるロシア文学とウクライナ文学の交錯ーウクライナ・コサック表象に注目して

## ■学位論文題目

- 臨床倫理に携わる看護職に求められるコンピテンシーに関する研究
- 音の民族誌ーモンゴル遊牧社会における人・動物・風景・霊的存在をつなぐ実践ー
- 環境保全の公民協働に関するエスノグラフィック・アクションリサーチー自治体行政および NPO の環境教育事業をつなぐ試みー
- Language Attitudes of Ainu People toward their Language, its Speakers, and Linguistic Institutions: Implications for Revitalization and Modern Use (アイヌ語、その話者、および言語に関する制度に対するアイヌ民族の言語態度をめぐって: 言語復興と現代的な使用への示唆)
- 楚土筮祭禱簡における宗教儀礼と鬼神信仰に関する研究
- 中國思想史に関する研究ー思想史へのアプローチー
- ロベール・ブレソン考ー魂を創発する装置としてのシネマトグラフ
- 古代中國における「意象」に関する研究
- Cultural Transmission and convergence processes in Paleolithic of Northern Asia and Beringia: On the basis of microblade industries (北東アジアおよびベーリング地帯における旧石器時代の文化伝播と文化収斂過程: 細石刃技術体系を中心とした考察)
- カント徳理論の再構成と応用可能性ー有徳な人の感情と人間以外の存在に対する道徳的配慮の観点からー
- Decoding Women's Voices: Independence and Dependence in WWII Literature through Digital Humanities (女性たちの声を聴く: 人文情報学が奏でる第二次世界大戦文学の自律と他律の音楽)
- 日本語数量詞の多層的構造と機能に関する総合的研究
- 日本列島におけるニワトコの歴史生態学的研究
- 竹越与三郎に関する思想史研究ー「自由帝国主義」者の国家構想ー
- エトノス・イデオロギー: ソヴィエト民族学における「エトノス理論」の諸相
- A Life Lived Punk: Live Music and Intergenerational Relationships in Aging Japan (パンクとして生きていた人生: 高齢化日本におけるライブ音楽と世代間交流)
- 吉田兼俱の『日本書紀』講釈の研究ー中世の神典注釈をめぐる諸言説の連関ー
- ミュージアムにおける価値のマネジメントに関する研究 欧米における事例研究と日本での実証研究に基づく考察
- 白石詞研究ー清代から民国期にかけての詞論を中心としてー
- 形式名詞を資源とするモダリティ助動詞の統語語用論的研究
- 考古学の民族誌ー北海道における考古資料の活用と地域との関わりを中心に
- 定型表現の反復が促す英語習得プロセスー使用基盤モデルの観点からー
- ロシアの国籍政策ー国境外国籍の付与と対外政策ー

### 【人間科学専攻】

- 聴取者にとっての演奏表現の芸術性: テンポのゆらぎに焦点を当てて
- 女性ウェイト・ピッカーの労働・ケア・実践 山東省東営市東営区を事例に
- 都市における野生動物問題の環境社会学的解決に向けてー札幌市郊外のヒグマ出没問題における住民参加を事例にー
- 御蔵島における生態系保全を目的としたイエネコ対策の実現可能性評価に関する研究
- CULTURAL DIFFERENCES IN CONSPICUOUS CONSUMPTION: A SOCIO-ECOLOGICAL APPROACH (誇示的消費における文化的差異: 社会生態学的アプローチ)
- 学力・認知能力と教育達成ーきょうだい構成・学校外教育投資・遺伝要因に着目してー

----文学研究科(H30年度以前の組織)の修了者---

### 【歴史地域文化学専攻】

- ビョートルー世の活字帝国

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > 学位論文データベース

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > HUSCUP

北海道大学 大学院文学院

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

---